



# この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2021年8月8日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部



迫る

## 「東洋の魔女」孤高の闘い

8日(日)=1、3面

1964年東京オリンピックに出場した日本代表の女子バレーボールチームは、欧州チームに引けを取らない強さから「東洋の魔女」というニックネームで呼ばれていました。そして見事に

金メダルを獲得したのです。ただ、メンバーの一人だった佐々木節子さん＝写真＝はこれまで多くを語ってきませんでした。その心境に迫ります。

### 特集 ワイド

## 作家・関川夏央さんに聞く 「五輪との付き合い方」

10日(火)＝夕刊特集ワイド



日本選手団のメダルラッシュで沸いた東京オリンピックがいよいよ閉幕しますが、作家の関川夏央さん(71)＝写真＝は「僕は昔からそうなんだけど、日本選手の試合を見ていられないんですよ。これはナショナリズムと関係があるのかもしれない」と言います。連載コラム「五輪の夏・考」最終回では、関川さんが「ニッポン、やった」「ニッポン、がっかり」と一喜一憂しない理由などを聞き、五輪との付き合い方について考えました。

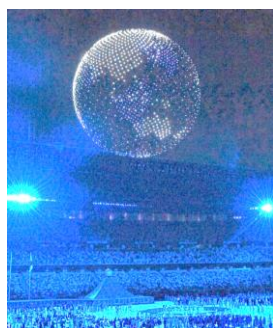


連載「やすらぎの地、探して」スタート



## 東京五輪閉会式

9日(月)=1面など



東京オリンピックは8日、閉幕します。8日夜の閉会式で世界にどんなメッセージが発信されるのか詳報します。また日本代表が過去最多の金メダルを獲得する原動力となった女性や若手アスリートの躍進の背景を探りま

す。新型コロナウイルスが感染拡大することによる政治、経済、医療への影響にも迫り、この先の世の中の動きを展望します。

【写真説明】開会式では、ドローンで上空に地球を描く演出があった＝国立競技場で7月23日撮影

1945年8月15日に太平洋戦争が終戦してから、今年で76年です。当時、子どもだった人たちがお年寄りになつてしまいました。11日付の朝刊から、平和を考える連載「やすらぎの地、探して」をスタートします。家

【写真説明】連載に登場する中国残留孤児の猿田勝久さん

11日(水)から15日(日)＝社会面  
族で渡った中国大陸で親が病気で亡くなったたり、空襲で家族を失つたりした戦災孤児たちに焦点を当て、戦後の人生も含めて描きます。

新毎日

150  
2022年2月21日  
毎日新聞創刊150年

その本質に迫ります。ぜひご参加ください。(千代崎聖史)



爆発的な感染拡大の局面を迎えているコロナ。この間の政府の危機管理対応、発表される「情報」へのメディアの在り方などを見ていくと、太平洋戦争時の日本と似通った点が見えつつあります。TBSラジオとの共催でお送りする11日のオンラインイベント「戦争とコロナ」私たちはその時、何を信じたか」では、両社の記者たちがその本質に迫ります。ぜひご参加ください。(千代崎聖史)

